

平成24年度図書館協議会概要

日 時 平成24年6月28日(木)
午後2時から午後4時00分
場 所 戸倉庁舎 4階 第2会議室

任命書の交付

1. 開 会 (生涯学習文化課長)
2. あいさつ (吉川教育長)
3. 自己紹介
4. 協議事項

(1) 正副会長の選任について

○ 会長は宮坂芳文校長、副会長は大日野亜希子司書を選出

- (2) 千曲市立図書館の概要について
- (3) 平成23年度事業報告について
- (4) 平成24年度事業計画について
- (5) その他

図書館運営について

委員から出された主な質問及び意見	市(事務局)の説明及び回答
<ul style="list-style-type: none"> ○ 長野市立南部図書館の利用は制限されているが、千曲市では長野市民が利用できるのは、いかがか。 ○ 千曲市民が長野市立図書館も利用できるよう、働きかけてほしい。 ○ 職員研修をしていることも報告事項としてあげたらどうか。 ○ ブックスタート事業で絵本の配布率が低いので策を考えてもらいたい。 ○ 検診時に行ったらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 合併前から坂城町民への利用を戸倉図書館で行っていた経過があり、更埴西図書館開館に伴い長野市民への利用範囲を館長判断で行っている。全国的にも制限しない方向に向かっている。 ○ いまのところは相互貸借を利用させていただきたい。 ○ 職員の勤務シフトで参加が限られるが、今年度は昨年につき、読み聞かせ講座を2回開催する。また、図書館協会や生涯学習センター等の講座へできる限り参加したい。 ○ 絵本プレゼント会を開催して配布しているが、昨年度から来られなかった方に再度通知して、各館3回日曜日に開催している。送付の方法もあるが、本の紹介や読み聞かせのコツなど聞いていただき、また図書館利用につなげるために開催している。それでも来ない方がいるので、皆さんから知恵をいただきたい。 ○ 以前行なっていたが、各種検診があり一堂にその時間が取れないし、長時間だと親子ともども疲れてしまうので、別の日に絵本プレゼント会を開催し配布している。

<ul style="list-style-type: none"> ○ 以前読み聞かせボランティアとして検診時に行なったが、落ち着いて聞けないし、絵本の良さ等伝えられないと感じ、やめた経過がある。 ○ マタニティ学級などで声がけをしたらどうか ○ 購入基準とか選書基準はあるのか。 ○ 未返却本や破損等はあるのか。 ○ 郷土資料は図書館にあるということだが、古文書の保管はどうか。 ○ 保管するには、紙媒体は劣化するので、大切なものはマイクロフィルム化を考えてほしい。 ○ 5年間の利用推移の中で児童書貸出数が減少してきているのは、子どもが忙しいことや、学校図書館の蔵書の充実等図られてきていると思われるので、公共図書館の利用減少は止むを得ないかと思うが、学校と図書館の利用状況との兼ね合いを考えながら、いい方法が探れたらと思った。 ○ 古い絵本は痛みが激しいので、刷新してほしい。絵や写真が摺れている。予算枠の中で、新規購入してほしい。 ○ ラベルの貼る位置の工夫や、本を検索したときに内容が分かるようにしてほしい。 ○ 電算化前の貸出カード袋が貼ってあるが、はがしたらどうか。見返し部分も本の1部である。 ○ 利用登録者数は、年齢別で把握すると利用状況が見えてくる。これからは、団塊世代を取り込み、選書や本の紹介を前面に図書館のPRをしてほしい。図書館の場所を知らない方も大勢いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 選書基準を定めている。週1回全国で出版された図書のカatalogから、職員が選定している。また、利用者からの希望を受け付け、選書の参考としている。 ○ 千曲市でもある。未返却については、まず電話催告をして、それでも未返却2月以上経過のものは、はがきを送っている。 破損等の場合は、基本的には弁償していただく。 ○ 文化財センターが今年度から組織化され、旧更埴保健所施設を文化財センターとして利用し、保管している。現在分類わけ等整備中である。まだ10年ほどはかかる見込みだ。 ○ ラベルはある程度位置を決めて貼るよう支持しているが、できる範囲で対応する。内容については、新システム導入では情報量を多くしたが、他は電算化する前の図書のため、こちらもできる範囲で対応する。
---	--

○ 千曲市教育委員会で発行した図書が新聞掲載されたが、図書館内や市報でその紹介がされていなかった。

「積極的に市民に働きかける図書館でありたい」と言っていたので、図書館に来たら様々な表示があつて、「こんなこともあるのか」と発見できれば良いと思う。来館すると、職員は慌ただしく仕事をしているが、親切に対応していただいている。日々の図書館業務が忙しく、様々なサービスに手が回らないのか。職員数の根拠はあるのか。この協議会で職員を増やすような意見を聞いてもらえるのか。

○ 郷土資料についてすぐ答えられる職員や児童書の点検をする職員がいていいのではないか。職員自身が読んだ本をじっくり紹介できるような、余裕が持てる職員数を要望したい。

○ 臨時職員がほとんどの状況で運営している。日数等の雇用条件が定められており、ローテーションを組んで運営しているが、ぎりぎりであると思う。

最近、全国的に「図書館で調べ物をする」との図書館が求められてきている。アドバイザー的な職員を配置して相談に乗る図書館が増えつつある。

○ 職員を増やすことは、すぐに対応は難しいが、大事なことなので考えていきたい。